

## 【大学院生の紹介】

地理・環境専攻のことをよく「地理学教室」といいます。これは教員・学生に加えて、大学院生やその他のスタッフを含めた場合の呼称です。本地理・環境専攻には「その他のスタッフ」にあたる人はいませんが、文学部の大学院というべきものとして、大学院人文科学研究科があります。人文科学研究科は、修士課程が2001年に、博士課程が2003年に設置された、比較的「若い」研究科です。

人文科学研究科は人文科学専攻と教育学専攻の2専攻から成り、人文科学専攻はさらに、「日本史・東洋史」、「文学・文化論」、「地理・地域論」の3コースに分かれます。「地理学教室」の大学院生は地理・地域論コースに属する院生であり、正確には「国士舘大学大学院人文科学研究科人文科学専攻地理・地域論コース」という長い肩書きを持つ院生です。現在、地理学教室には4名の院生がいます（ただし、正式にはOBに当たる院生と同じような立場の人が1名いますので、計5名とっていた方が分かりやすいでしょう）。

大学院生は、授業のTA（ティーチング・アシスタント）やゼミによってはゼミナールの一員として会うほか、国士舘大学地理学会にも顔を出しますし、10号館2階の地理情報処理室で作業をしていることも多いので、見かけることも少なくないと思います。

そうした関係上、「誰が大学院生かは何となくは知っているけど、顔と名前が一致しない」という人が多いことでしょう。そこで今回は大学院生に簡単な自己紹介文を寄稿してもらいました。

地理情報処理室は基本的に研究の場ですので、おしゃべりに来るだけの人は困りますが、院生と親しくなっておけば、勉強や研究の良いきっかけが得られるかもしれません。是非、顔と名前くらいは覚えてあげてください。

大学院なんて多くの人には遠い存在に感じられるかもしれませんが、とはいえ本当の意味で、大学での学問を直接職業に活かすような人材（文科省用語で「高度専門職業人」と言います）になる上では、大学院での勉強は欠かせない時代になってきています。5名のうち、2名は大学卒業後に即大学院に進学したわけではないという事実がそのことを物語っているといえるかもしれません。

大学院については、大学院のホームページ（<http://www.kokushikan.ac.jp/faculty/GS/index.html>）を見てもピンと来ないというのが正直なところだと思います。詳しい話に興味のある人は教員に質問してもいいですし、それよりも院生に聞くのがもっとも手っ取り早いかもしれません。

そのためにも顔と名前は覚えておきましょう。

### M1 池田雄斗 （修士課程1年生はM1と略します。これは全国共通）

大学院修士一年の池田雄斗（指導教員は内田先生）です。研究分野はおもに観光地理学で、卒論では奈良県明日香村観光における『ふるさと』演出について研究していました。ほかにも、グリーンツーリズム・景観・真正性・風景・町並み、といったキーワードに興味を持ち、上記の内容から修士論文を執筆できるよう励んでいます。年齢は24歳、出身校は都立駒場高校で、当時は毎日サッカーばかりしていました。大学に入学してから旅行に関心を持ちはじめ、最近ではカンボジアのアンコールワットを訪れています。共通点があってもなくても、ぜひ気軽に話しかけて下さい。どうぞよろしくお願い致します。



### M2 岩崎慶太

大学院修士課程2年の岩崎慶太です。自然好き、生き物好きで、磯谷先生のもと植生地理学を学んでいます。研究内容は、卒論の時から照葉樹林の分布限界域を対象に、どのような植物が生育していて、どのような広がりを持っているのかを調べています。フィールドワークは、いろんな生き物やきれいな風景など、普段なかなか見ることのできない自然の姿を見ることが出来ます！興味ある方はぜひ、一緒に野外へくりだしましょう！！



## M2 竹内えり

こんにちは!!私は、M2 で高知県出身の「はちきん」の竹内えりです（はちきんっていうのは土佐弁で「気の強い女性」という意味で、高知の女性のことを指します）。私の研究分野は地形学で、修士論文の対象地は中東のヨルダンです。日本とは違った気候で、文化も違う国で研究ができて、すごく勉強になります。こんな機会ってそう簡単に得られるものじゃないので、思う存分楽しんでやろうと思っています。ちなみに、趣味は旅行とか探検です。地図片手に自転車で都内をうろうろしたり、長期の休みには18切符で旅行したりしてます。鉄男・鉄子の方は、18切符旅行のおすすめとか教えてください!!



## M2 石川貴之

大学院修士課程 2 年の石川貴之です。学部の頃は長谷川ゼミに在籍していました。リモートセンシング画像を利用して、南米大陸のパタゴニア地方にあるパタゴニア氷床について研究しています。近年の地球温暖化に伴いパタゴニアの氷河が地域ごとにどのような変化をしているのかをテーマとしています。茨城県出身の 1983 年生まれ。高校は茨城県立竹園高校出身。趣味はサイクリングです。



## OD 後藤智哉 （ODとはOver Doctorの略で、一般に博士課程を修了するか、満期退学した人を指します）

マルハバ！イラク古代文化研究所共同研究員の後藤です。国土館の地理出身です。

長野県で生まれて岐阜の中津高校から国土館地理＋大学院で学んでいました。

大学院時代にイラク復興支援プロジェクトに参加した経緯で、今年の夏から2年間ヨルダンの考古庁で西アジアの遺跡を対象としたジオアケロロジー・衛星考古地理学を研究する予定です。中東に旅行予定がある人はぜひヨルダンに遊びに来てください。待っています。

マッサラーマ！

※ イラク復興支援プロジェクトについては、過去のNewsletterを参照のこと。過去のNewsletterはwebで見ることが出来ます。Newsletter 35以降に数回、その報告が掲載されています。

